

「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす 影響について」緊急アンケート

みなさまのご意見を参考にさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願いします。

＜調査期間＞令和2年7月20日（月）～8月4日（火）

●調査目的

新型コロナウイルスの感染拡大により、4月7日に大阪府に緊急事態宣言が発出されました。不要不急の外出自粛要請と併せて、学校の休校や在宅勤務、店舗や施設の休業等、生活に大きな影響を及ぼすこととなり、生活不安やストレスの増加、またそれらに起因するDVの増加などが問題となりました。

5月21日の解除後、新しい生活様式の実践等による感染拡大防止に向けた取組のもと、社会経済活動は再開されましたが、いったん収まった感染者数も最近増加傾向にあり、様々な影響が今も続いている状況です。

そこで、新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について実態を把握するため、アンケートを実施します。

●調査方法

WEB調査（大阪府インターネット申請・申込みシステムを利用）
またはアンケート用紙による調査

●アンケート実施主体

大阪府府民文化部男女参画・府民協働課

回答方法をお選びください

WEBでの回答

右のQRコードを読み取り、「大阪府インターネット申請・申込みシステム」からご回答ください。



URL <https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukid=2020070051>

アンケート用紙に記入

この用紙の2～4ページの設問にお答えいただき、ドーンセンター2階（受付及び情報ライブラリーカフェ）に設置しているアンケート回収箱に入れてください。

【本アンケートに関する問い合わせ先】

大阪府府民文化部男女参画・府民協働課

電話 06-6210-9321 / FAX 06-6210-9322

メール danjo-fumin@sbox.pref.osaka.lg.jp

□に☑（チェック）を入れてください。Q10、Q12、Q13については適宜ご記入ください。

Q1 年代

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代～

Q2 性別（自認する性でお答えください）

- ①女性 ②男性 ③無回答

Q3 家族形態

- ① 1人暮らし
② 本人と親
③ 配偶者（パートナー）と2人
④ 配偶者（パートナー）と子ども（末子が小学生以下）
⑤ 配偶者（パートナー）と子ども（末子が中学生以上）
⑥ 母親（本人）と子ども（末子が小学生以下）
⑦ 母親（本人）と子ども（末子が中学生以上）
⑧ 父親（本人）と子ども（末子が小学生以下）
⑨ 父親（本人）と子ども（末子が中学生以上）
⑩ 三世帯世帯（親と子と孫）
⑪ その他

Q4 職業（新型コロナウイルスの影響で仕事を辞めた方は、辞める前の職業）

- ① 勤め人（正規社員・職員）
② 勤め人（臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員）
③ 自営業主または家族従業員
④ 家事専業
⑤ 学生
⑥ 無職（家事専業を除く）
⑦ その他

Q5 Q4で「①、②、③」のいずれかに回答された方のみお答えください。コロナ禍前と

現在とを比較し、新型コロナウイルスの影響により働き方に変化はありましたか。【複数回答可】

- ① 就業日数が増えた
② 就業日数が減った
③ 1日の就業時間が増えた
④ 1日の就業時間が減った
⑤ 在宅勤務（テレワーク）が増えた（出勤との併用含む）
⑥ 時差出勤になった（増えた）
⑦ 仕事を辞めた（自己都合）
⑧ 仕事を辞めた（解雇、雇い止め、倒産等）
⑨ 特に変化はない
⑩ その他

Q6 Q4で「①、②、③」のいずれかに回答された方のみお答えください。

コロナ禍前と現在とを比較し、収入に影響はありましたか。

- ① 収入が増えた
- ② 収入が減った
- ③ 収入がなくなった
- ④ 変わらない
- ⑤ その他

Q7 緊急事態宣言が出ている間（4月7日～5月21日）、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化がありましたか。【複数回答可】

- ① 家事の負担が増えた
- ② 家事の負担が減った
- ③ 仕事や勉強に集中できなくなった（不安があった）
- ④ 仕事や勉強に集中できた
- ⑤ 子どもを叱ることが増えた
- ⑥ 子どもを叱ることが減った
- ⑦ 配偶者（パートナー）との関係が悪くなった
- ⑧ 配偶者（パートナー）との関係が良くなった
- ⑨ 人との交流機会が減った
- ⑩ 生活に対する不安を抱えていた
- ⑪ 感染への不安を抱えていた
- ⑫ 特に変化はなかった
- ⑬ その他

Q8 現在、新型コロナウイルスの影響で、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化はありますか。【複数回答可】

- ① 家事の負担が増えている
- ② 家事の負担が減っている
- ③ 仕事や勉強に集中できなくなっている（不安がある）
- ④ 仕事や勉強に集中できている
- ⑤ 子どもを叱ることが増えている
- ⑥ 子どもを叱ることが減っている
- ⑦ 配偶者（パートナー）との関係が悪くなっている
- ⑧ 配偶者（パートナー）との関係が良くなっている
- ⑨ 人との交流機会が減っている
- ⑩ 生活に対する不安を抱えている
- ⑪ 感染への不安を抱えている
- ⑫ 特に変化はない
- ⑬ その他

Q9 今、困っていることは何ですか。【複数回答可】

- ① 自分の仕事や生き方
- ② 配偶者（パートナー）との関係
- ③ 家族（配偶者・パートナーを除く）との関係
- ④ 家族以外との人間関係
- ⑤ 暴力被害・性暴力被害
- ⑥ 自分自身や世帯（家族）の経済面
- ⑦ 自分自身や家族の健康面
- ⑧ 特になし
- ⑨ その他（Q10に詳細をご記入ください）

Q10 Q9で「⑨その他」と回答された方は、詳細をご記入ください

Q11 コロナ禍の中、女性に対する支援としてどのような施策が必要と思われますか。【複数回答可】

- ① 仕事や生活、家庭等に不安がある際の適切な相談先に関する情報提供
- ② 電話による相談
- ③ 面接による相談
- ④ メールやSNS等を活用した相談
- ⑤ オンライン面接（ビデオ通話）による相談
- ⑥ 同じ悩みを持つ人同士が対面で交流できる場の提供
- ⑦ 同じ悩みを持つ人同士がオンライン上で交流できる場の提供
- ⑧ オンライン配信によるセミナー
- ⑨ テレワークできる場の提供
- ⑩ 特になし
- ⑪ その他（Q12に詳細をご記入ください）

Q12 Q11で「⑪その他」と回答された方は、詳細をご記入ください

Q13 その他、ご意見等がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。アンケート用紙は、ドーンセンター2階（総合受付及び情報ライブラリーカフェ）に設置しているアンケート回収箱に入れてください。